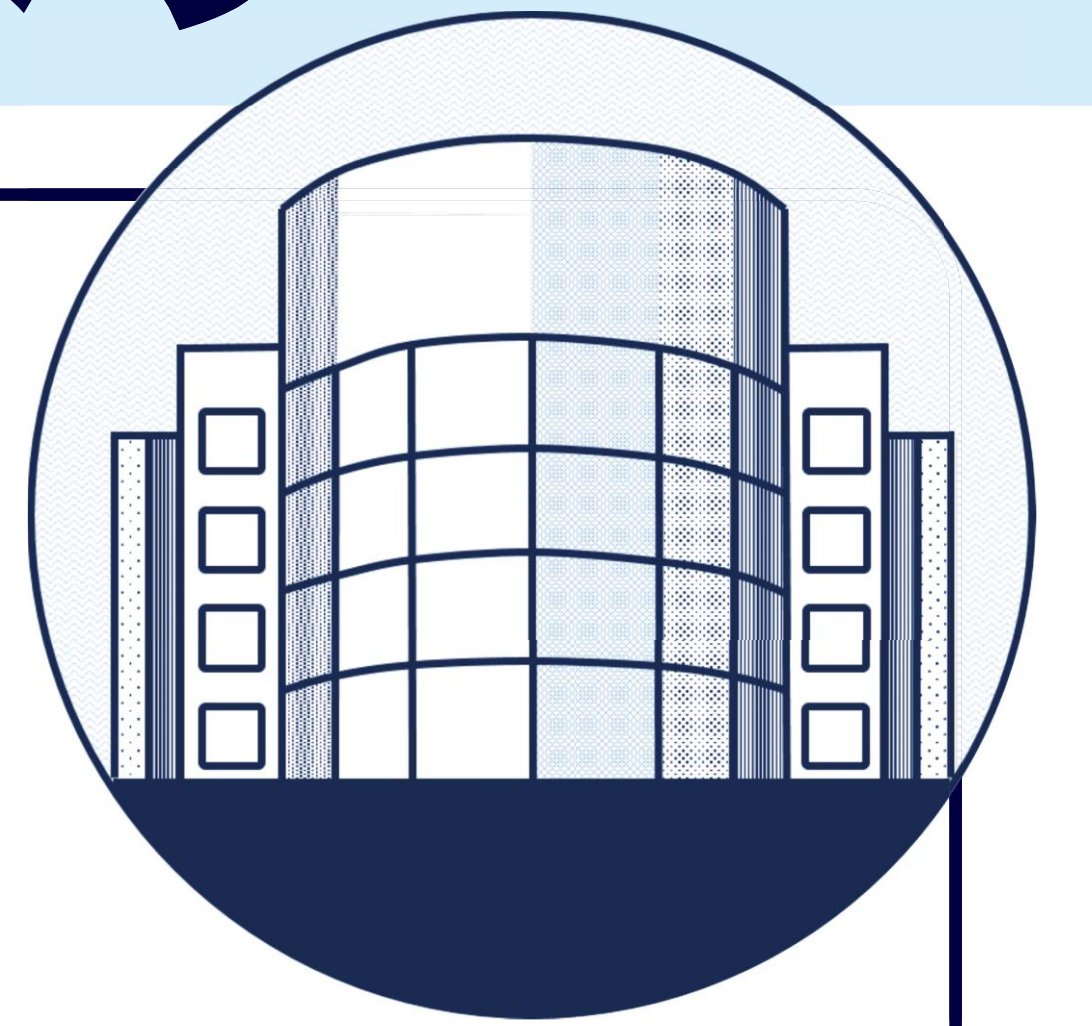


防衛装備庁に 新たな研究機関を創設します

新たな研究機関について

防衛イノベーションや、画期的な装備品等を生み出す機能を抜本的に強化するため、米国のDARPA(国防高等研究計画局)やDIU(国防イノベーションユニット)における取組を参考に、これまでとは異なるアプローチ、手法により、変化の早い様々な技術を、**将来の戦い方を大きく変える革新的な機能・装備につなげていく「新たな研究機関」**を令和6年度に防衛装備庁に創設します。

DARPA: Defense Advanced Research Projects Agency
DIU: Defense Innovation Unit



新たな研究機関の特長

① 挑戦的な目標設定

技術の壁を越えるために、**挑戦的な目標を設定し**、失敗を許容し、**将来の戦い方を大きく変える新たな機能・技術**を創出することを目指します。

② 外部人材の積極活用とシンプルな意思決定

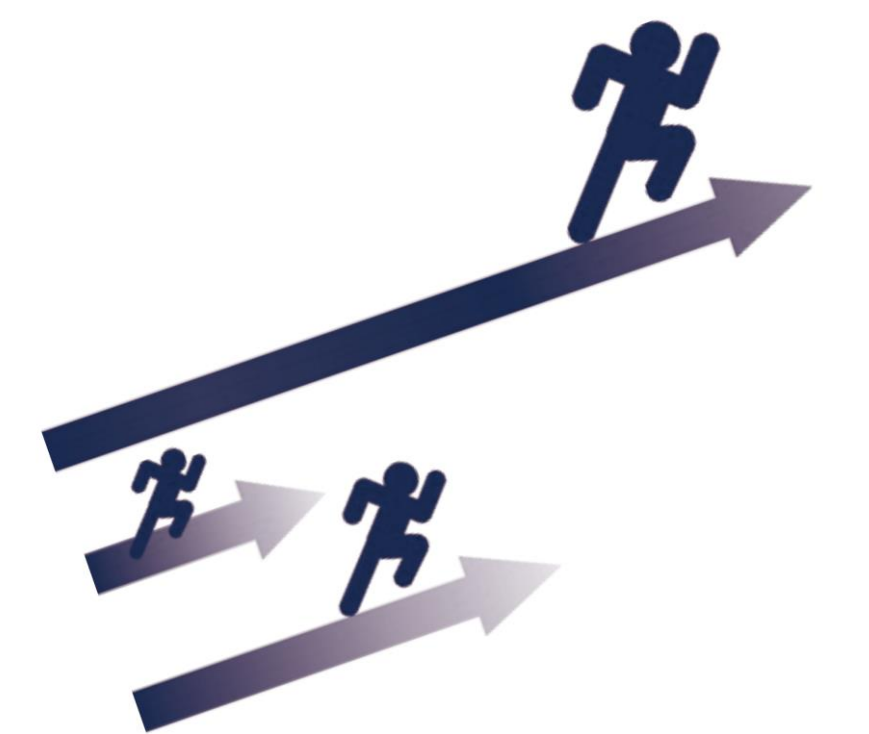
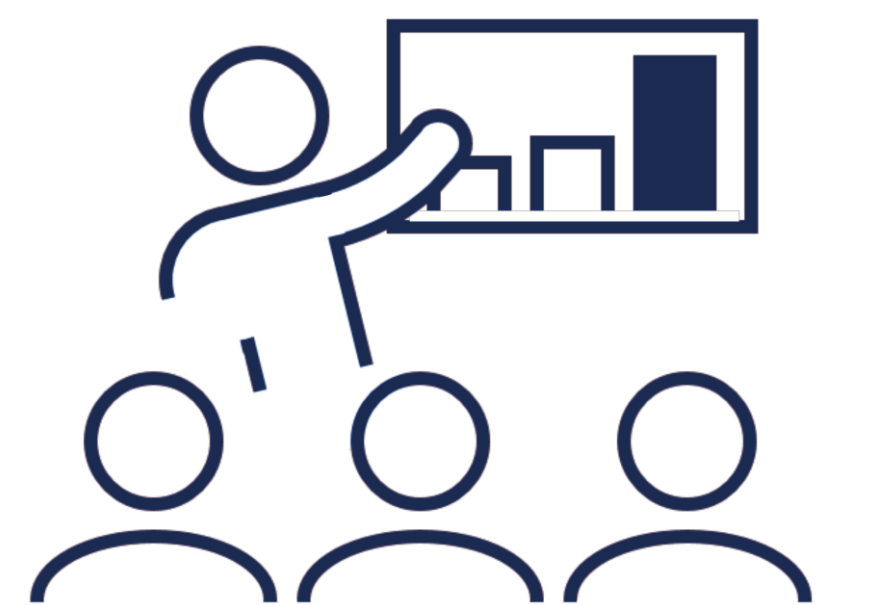
急速に進展する変化の早い様々な科学技術を活用するために、**外部の研究者等をプロジェクトマネージャ等に指定し、積極的に活躍していただくとともに、プロジェクトマネージャの権限を最大化できるフラットな組織構造**を追求します。

プロジェクトマネージャに求める人物像とは

- ・いままでの常識にとらわれない発想ができる方を求めています。
- ・進展の早い科学技術に、精通している方を求めています。

③ スピード重視

一つのテーマに対し、**複数の技術的解決策を探究しながら、成果を早い段階で評価し**、見込みのある技術を伸ばしつつ、見込みが薄いものは早期に中止を判断していきます。



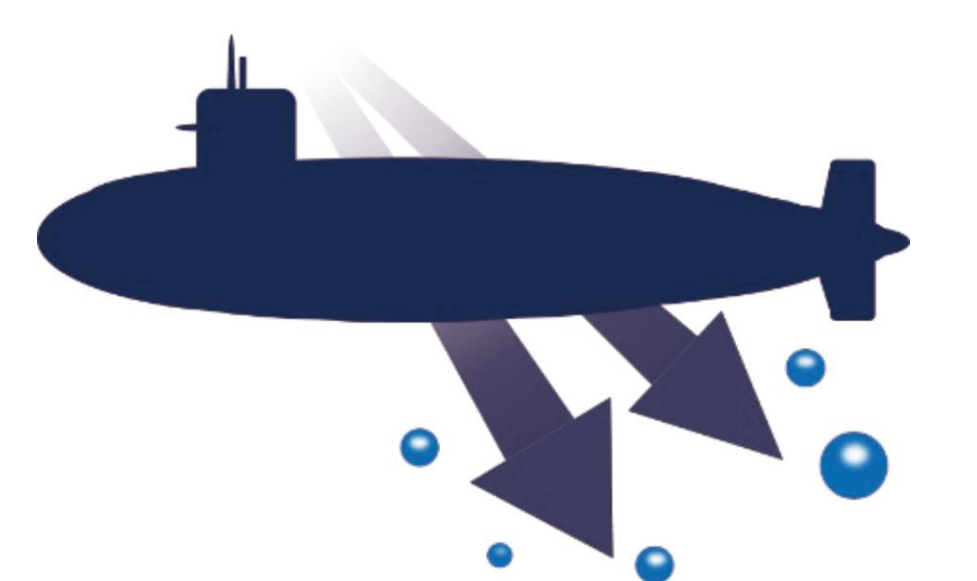
ブレイクスルー研究(仮称)

挑戦的な目標にリスクを取って果敢に挑戦し、将来の戦い方を大きく変える機能・技術を**スピード重視**で創出していくため、以下のアプローチを取っていきます。



DARPA的なアプローチ

挑戦的な目標を設定し、リスクを取って革新的、画期的な科学技術を育て、これまでの延長ではない新たな機能、技術を創っていきます。



DIU的なアプローチ

企業等が持つ様々な技術を取り込み、将来の戦いに必要な機能、能力をできるだけ早く創っていきます。



これらを通して、これまでできなかったことをできるようにしていく研究機関を創設します。